

たった一度の歌を

詞 奥田 祐子

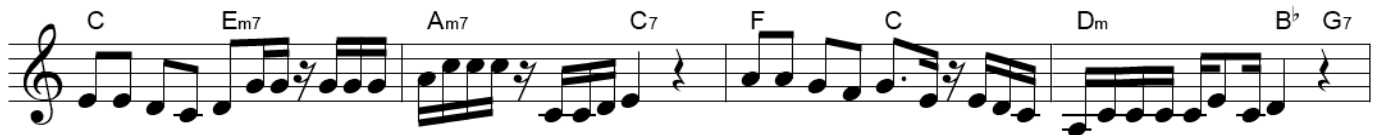
曲 うらた あい



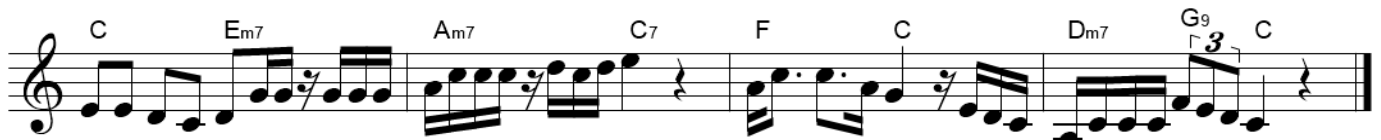
きみの おもいがひとつ きみ の なかから またひとつ ひら きあふれてー うご きは じめるー



きみを みつけるかぎは きみ が もっているんだ あの そらの ようにー つき ぬ けて ゆけー



ぼく たち が いる たった いちどの この場所 生 ま れ て い る たった いちどのこの うた



ぼく たち が いる たった いちどの ぼくたち うた っている たった いちどのこのうた

1 君のおもいがひとつ 君の中からまたひとつ ひらき あふれて 動きはじめる

君を見つける鍵は 君がもっているんだ あの空のように 突き抜けていけ

ぼくたちがいる たった一度のこの場所

うまれている たった一度のこのうた

ぼくたちがいる たった一度のぼくたち

うたっている たった一度のこのうた

2 誰とも違う君と 誰とも違うぼくが 響きはじけて いのちのハーモニー

ぼくを見つける鍵は 君ももっているんだ あの空のように 広がっていけ

ぼくたちがいる たった一度のこの場所

うまれている たった一度のこのうた

ぼくたちがいる たった一度のぼくたち

うたっている たった一度のこのうた

3 昨日までの君と 今日生まれた君が 重なり 溶け合い 新しいうた

明日を見つける鍵は 今日がもっているんだ あの空のように つながっていけ

ぼくたちがいる たった一度のこの場所

うまれている たった一度のこのうた

ぼくたちがいる たった一度のぼくたち

うたっている たった一度のこのうた